



ジュゴン Vol.110

ちゃんぷるニュース

SDCC 2020. 5. 26
Save the Dugong Campaign Center

CONTENTS

- 2/3 情勢・設計変更の公告縦覧へ意見を
● 県、国防総省へ中止要請
- ジュゴン2頭発見！
- 4/5 県へ保護制度を要請
- 6/7 使ってる？LINE スタンプ
- コラムー平安座かなもり
- わんさか通信★ジュゴンのわ



新型コロナウイルス感染症にかかる「緊急事態宣言」期間の真只中、73 回目の憲法の日を迎えた。

国民の命と暮らしをいかに守るのか、待たなしの時だからこそ「アベ政治」がいかに憲法を踏みこじっているかがよくわかる。憲法は、すべて国民が個人として尊重され、幸福に生きる権利は立法その他の国政の上で最大の尊重を必要とすると規定している。

オリンピックの開催に固執し致命的に遅れた「コロナ対策」は周知のとおり「自粛・休業求めるが補償はしない」、早くから求められた PCR 検査の拡充については一向に進めようとしな。感染者の早期発見、早期治療もされずに命を落とす人や死後に感染が確認されるというケースが続出している。すべて国民や事業者の意識の問題に矮小化し、「強権発動」の必要性をあまり、改憲を持ち出すことも忘れない。

「コロナと辺野古」アベ政治の本性が丸見えに

5月4日、政府は緊急事態宣言期間の延長を発表した。しかし根拠と原因について明確な説明は出来ない。延長後についても相変わらず自粛や休業を求めるが、目標やそのための経済的保障はまったく見えない。医療現場の献身的働きにこたえるのは、防護具や診療・看護用資材・人材の確保に税金を投入することだ。「介護崩壊」も起きている。すぐにでも利用でき、返済不要の中小企業、労働者、アルバイト、学生が生きていくための資金に税金を回すべきだ。今こそ、不要不急の軍事費を削り、完成する見込みもなく、この先何兆円かかるかもわからない辺野古新基地建設を中止しコロナ対策に回すべきだ。

防衛省は、4月16日の緊急事態宣言地域の全国への拡大及び工事関連業者から感染者が発生したことを受け、さすがに業者からの作業自粛の申し出がない限り工事を続けるとしていた姿勢を覆し、4月18日から土砂投入作業を当面の間中断している。しかし、琉球セメント安和棧橋や本部塩川港からの土砂搬出運搬船18隻は塩川沖に停泊したまま、作業再開の機を窺っている。

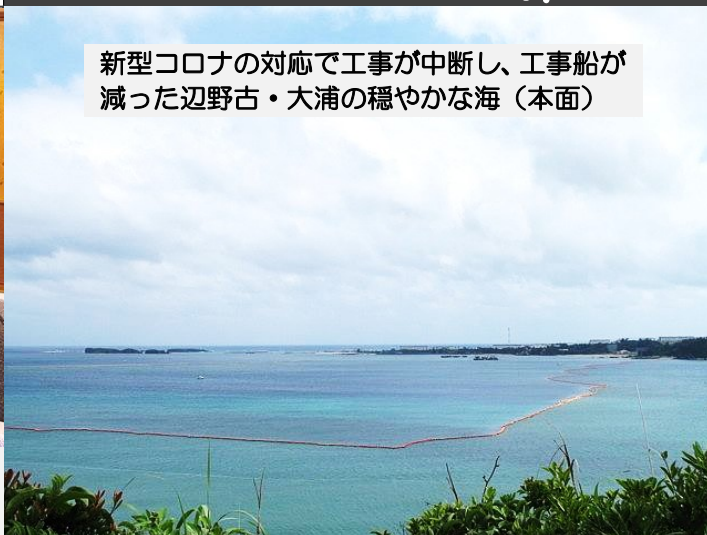
コロナ禍のどさくさに紛れて提出された「設計概要変更」申請については、県民の抗議行動自粛や国民の目が「コロナ」に向けられている時期を狙った全く卑劣なやり方として厳しく糾弾するとともに、沖縄県には専門家が求めている追加地盤調査や環境影響評価のやり直しを抜きにした申請に対しては審査そのものに入れれないという立場を明らかにするよう求める。
(沖縄 高垣喜三)

[WEB] <http://www.sdcc.jp/>

[EMAIL] info@sdcc.jp



ホープスポット認定を機に沖縄県へ保護の網を要請 (4面) - 写真提供: 牧志治さん



新型コロナの対応で工事が中断し、工事船が減った辺野古・大浦の穏やかな海 (本面)

「埋め立て不承認」の声を国内外からあげよう！

★ジュゴン訴訟の敗訴と成果

5月6日（現地時間）、米国ジュゴン訴訟控訴審は「新基地建設と運用がジュゴンの生態に影響を与えないと判断した国防総省の手続きは合理的であった」と結論。沖縄県など利害関係者からヒヤリングしていないとの原告の主張には、「国防総省には裁量がある」と原告敗訴の判決を出しました。国防総省が2014年4月に裁判所に提出した「行政記録」を作成するまでの情報に問題があるか否かが争点となったからです。一方、判決は原告の主張「国防総省はジュゴンの個体群の分裂や回遊ルートの混乱を配慮しなかった」「しっかりしたジュゴンの頭数のデータを持っていなかった」をふまえて国防総省のずさんな調査活動の問題点を指摘しています。ジュゴン訴訟の大きな成果は、国防総省が控訴審で蒸し返した「ジュゴンは国家歴史保存法の対象にならない」との主張が却下されたことです。工事休止日にフロート内で回遊していたジュゴンが発見された今、今回の判決は次の闘いのベースになったと思います。米国原告 CBD（生物多様性センター）や弁護士アースジャスティスをはじめ在米の多くの支援者に感謝したいと思います。

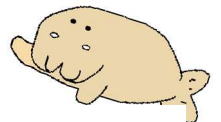
★国内外から不承認の意見を

4月21日、沖縄防衛局は公有水面埋立法にもとづき、

大浦湾西側海域の、軟弱地盤改良工事の設計変更承認申請を出しました。沖縄県が承認申請を形式審査して以降、公告縦覧で3週間、地元市長の意見徴収聴取など年内一杯の審査となります。まず、沖縄県は沖縄防衛局に、軟弱地盤 B27 地点の再調査や嘉陽に定住していたジュゴンの行方不明問題、そして埋め立て土砂の採取先や量などを明記することを要求すべきです。公告縦覧では、設計概要変更承認申請（沖縄県HPに掲載）で、「嘉陽に定住していたジュゴン A の行方不明の理由」や「工事休止日にジュゴンがフロート内で回遊していた理由」「K4 地点の海草藻場の調査について」「厚さ30mの先行盛土の汚染が海草藻場に与える影響」などがどのように書かれているかを確認し、郵便（当日消印有効）や FAX で意見を提出してください（国内外の関心ある人は誰でもOK）。6月中旬までに国防総省は、2020年度米国防権限法にもとづいて連邦議会の軍事委員会にアジア太平洋における海兵隊の分散配置計画の実施状況、とりわけ辺野古新基地建設の現状を報告しなければなりません。軟弱地盤改良工事の設計変更申請の審査が行われている最中です。設計変更を不承認とすることで日米両政府に痛打を与えましょう。



沖縄県が国防総省に辺野古案中止を要請



3月9日 玉城デニー知事はマーク・エスパー米国防長官らに辺野古新基地建設の中止を求める要請書を提出しました。

まず辺野古新基地建設が沖縄ジュゴンの危機的状況をさらに悪化させると指摘しました。2019年3月の沖縄本島北部西海岸での雌のジュゴン、個体 B の死によって、沖縄のジュゴンの危機は深刻になりました。IUCN（国際自然保護連合）は沖縄ジュゴンを「絶滅寸前」と評価し、基地建設がジュゴンへの脅威と警告したのです。さらに、亡くなった翁長前沖縄県知事が国防総省に提出した、ジュゴン訴訟に関する利害関係者としての国防総省との協議が実現していないことを指摘し、是正を求めました

（しかし5月7日裁判所は沖縄県との協議が実現していないことに関して、国防総省の裁量を認め原告敗訴しました。）

次に軟弱地盤問題を指摘しました。軟弱地盤への対処によって工事は大幅に遅れざるを得ない。仮に建設できても不同沈下などの問題発生は不可避である。膨大な地盤改良杭の海底での施工により、辺野古大浦湾の環境が壊滅する、と指摘しました。

そして工事の長期化が必至であるため、普天間問題の解決のため「辺野古が唯一」という見解は、すでに説得力を失っており、沖縄県民の辺野古新基地建設への不安と疑義が一層高まっていると、国防総省に警告しました。

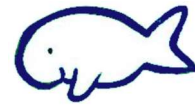
2019年10月、辺野古・大浦湾は、米国の環境 NGO Mission Blue によって、海洋環境のすばらしさと独自性によりホープ・スポットとして認定されました。

辺野古大浦湾は世界の財産です。環境保護に米国防総省も責任があります。要請書は辺野古案の撤廃と日本政府と協力し代替案の立案と軟弱地盤の調査を強く求めました。

4月22日、沖縄防衛局は軟弱地盤対策を中心とする設計変更申請を沖縄県に行いました。沖縄県は「公有水面埋め立て法上 県民に内容を公表する公告縦覧が必要」と、名護市を中心に県民の意見を集約し、徹底審査を行う方針です。今後も世界の世論とつながって、沖縄ジュゴン保護・辺野古新基地中止を実現しましょう。（関西 松島洋介）

設計変更申請

「事業によるジュゴンへの影響の再評価」を、設計変更の審査基準に!



4月21日、沖縄防衛局は沖縄県に辺野古新基地建設事業の設計変更承認を申請しました。新基地建設反対の国内外の世論で、安倍内閣は公有水面埋立法を無視することができなかったのです。防衛省は「変更申請を提出した後も、県のご理解とご協力が得られる取り組みをする」と言わざるを得ません（4月20日文書回答）。だからこそ、沖縄県は設計変更承認の審査基準の一つに「事業によるジュゴンへの影響の再評価」を置くべきです。沖縄県は4月17日の行政指導文書で「ジュゴンの保護策について沖縄県等関係機関との協議が終了するまでの間、事業を再開しないよう」と指示し、4月21日設計変更申請には「法令に則り、厳正に対応してまいります」と言ってきたからです。

沖縄防衛局は4月10日、第25回環境監視等委員会で、今年2月工事休止日の11、23、24日に臨時制限区域（フロート）内の大浦湾西側 K4 地点でジュゴンの鳴音が記録されていたことを明らかにしました（地図参照）。2年前の18年9月工事休止日の14、26日も、近くの K5 地点でジュゴンの鳴音が記録されています。工事を中止して、

大浦湾西側沿岸海域の海草藻場を調査すべきです。環境監視等委員からも「ジュゴンの鳴音が（施工区域内の）K4 地点で確認された以上、（工事は）ジュゴンにほとんど影響しない（との防衛局見解）は検討すべき」（議事録 p 26）と意見していますが、沖縄防衛局は「ジュゴンは目視で確認されていないので」（同 p 27）と拒否しています。沖縄防衛局は設計変更承認申請で「なぜジュゴン A、C が行方不明になったのか」「工事休止日だから、フロート内でジュゴンが確認できたのではないか」「工事を中止して、行方不明ジュゴンを徹底して調査すべき」「護岸なしで厚さ30mの先行盛土、海面下7m汚濁防止膜では海草藻場に大きな影響を与えないか」などを明らかにすべきです。

（事務局 蛭川義章）



波照間島や伊良部島周辺で見つかったジュゴンの食み跡と考えられる痕跡 写真:環境省



鳴音の確認位置

（出典 沖縄防衛局 「ジュゴンの生息状況等について」2020.4）

- 施行区域内の2地点を含む20地点において、海底面へ水中録音装置を設置し、24時間の連続観測を行っているところ、施行区域内のK-4地点（下図参照）の本年2月11日、23日、24日（いずれも休日）の録音データから、海洋生物の鳴音を検出。
- 海洋生物の専門家に確認したところ、個体の識別はできないものの、聴覚による判断だけではなく周波数や持続時間からみても、ジュゴンの鳴音の可能性が高いとの意見を得たところ。

（出典 沖縄防衛局 「ジュゴンの生息状況等について」2020.4）

報告 1

ホープスポット認定を受けての沖縄県への要請



2019年10月、辺野古・大浦湾を中心にした名護市天仁屋から宜野座村松田までの約45万平方キロメートルが、国際的影響力をもつアメリカの環境NGO ミッション・ブルーにより日本初の「ホープスポット（Hope Spot、希望の海）」に認定されました。その認定を受けて、その生物多様性豊かな環境を守り、辺野古新基地建設を止めるための新たな取り組みが始まっています。

その一つが、3月24日に行われた、「沖縄県の権限で環境保護の網をかける」ことを求める玉城デニー知事への要請行動です。大浦湾のチビシのアオサゴを県の天然記念物に指定することで保護することを取り組みの例として提案しています。

当日は、認定のキーパーソンである日本自然保護協会の安部真理子さんと、SDCC 共同代表の海勢頭豊さん、国際担当の吉川が参加しました。県議会中でもあり知事は非常に忙しいスケジュールでしたが、沖縄県議会議員の山内末子議員を介して要請が実現しました。

県庁応接室のテーブルの上に積み上げられた「保護の網」を求める2万4千筆以上の署名。シュワブ前、沖縄各地、そして国内外の人々の想いが詰まったものでした。デニー知事は、安部さんからのホープスポット認定までの経緯とその意義の説明に真剣に聞き入っていました。また、海勢頭共同代表からの「私たちも国際社会も知事に期待している」という言葉に知事は深くうなずいていました。

そして、デニー知事と海勢頭共同代表は前原高校の先輩後輩ということもあり、要請は終始和やかな形で行われました。市民団体と沖縄県の要請は厳しいやり取りになる時もあるのですが、今回は、県も市民団体も同じ方向を向いていることが確認できたと思います。

今回の要請では、天然記念物指定についてはまだ県からの明確な返事はもらえませんでした。しかし、ミッション・ブルーを迎えてのシンポジウムの開催については県側も前向きな反応を示してくれ、これは大きな成果だったといえます。

コロナ禍により、県の対応や私たちの辺野古・大浦湾を守る活動にもいろいろ制約があるのが現状です。しかしホープスポットを巡る取り組みは続いています。この6月12日にはミッション・ブルーによる国際的なホープスポット・サミットがオンラインで開催されます。そこで「辺野古・大浦湾一帯」のホープスポットへの更なる関心と支援を集めることができたらと思います。（国際担当 吉川秀樹）



玉城デニー知事への要請書提出後の記者会見 写真：琉球新報



ありがとう ウミエラ館

博物館カフェ ウミエラ館が4月に閉館した。2011年に泡瀬干潟（沖縄市）を埋め立てから守ろうと開館。以降環境保護の拠点として、干潟や渡り鳥の観察会のほか、海勢頭豊さんのライブなど、様々なイベントが催されてきた。

はじめてウミエラ館を訪問したのは2013年の浜下りの日。屋良朝海館長と写真家の牧志治さんに干潟を案内してもらった。潮が引いた広大な干潟を歩き、たくさんの貝やカニなど様々な生き物たちと出会ったことは忘れがたい貴重な体験だった。泡瀬の埋め立て工事は遅れているらしい。今からでも工事を止めれば貴重な海を取り戻せるのではないかな。

屋良さんは、これからも海を守る活動を続けていけます。

ブログ「ウミエラ館」をご覧ください。

<https://umierakan.ti-da.net/>

（関西 山根富貴子）

※「ウミエラ」は泡瀬干潟にも生息するサンゴの一種



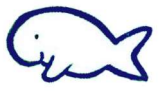
シュワブゲート前のジュゴンは屋良さん作



ウミエラ館にて ジュゴン帽をかぶる屋良館長（中央） 写真：琉球新報

報告2

第20回SDCC総会を開催しました



3月21日大阪天満橋のドーンセンターで、第20回SDCC総会を開きました。

メインの講演“Connecting the Green Dots (緑の点をつなぐ)”は国際担当の吉川秀樹さんから。緑の点とは、米国のジュゴン訴訟やその関連する政府機関、IUCN (国際自然保護連合) などの環境に関する米国や国際機関のこと。日本国内だけでなく、米国や国際的機関などに辺野古のことを訴え、その成果をつなごうという取り組みです。SDCCはこれまでにジュゴン訴訟へのサポート、IUCNへの働きかけ、Hope Spotへの取り組み、2020年度米国国防権限法への取り組みなどを行ってきました。昨年12月IUCNが南西諸島のジュゴンを新たに個別個体群と位置づけ「近絶滅種」とし、「米軍基地建設に伴う海草藻場の消滅が懸念される」と表明したことは、基地建設がジュゴンに影響を与えないとする防衛省や米国防総省への大きな反論材料になります。

蛭川共同代表から、2月3日の米国ジュゴン訴訟控訴審(結審)への参加報告。訴訟の審理後、日米の環境団体メンバー、弁護士、市民が交流しました。海を越えた連帯が大きな希望です。

首都圏事務所から昨年度の会計と活動報告、関西事務所からは、会計・活動報告と2月のマニラピースキャンプツアーの参加報告をしました。

最後に人事が提案され拍手で承認されました(昨年と変更なし)。共同代表：海勢頭豊、蛭川義章 事務局長：三村昭彦 国際担当：吉川秀樹、正阿彌崇子 会計：矢敷克子

コロナでイベント自粛が続きますが、防衛大臣にはがきを送るなど、家で出来ることに取り組み、ジュゴン保護の大きな展望を持って進みましょう。

(関西 山根富貴子)



アルコール消毒、席の間を開けるなど新型コロナの対策を徹底しました。参加者全員マスク姿です。



新基地建設止めて コロナ対策を

緊急事態宣言わずか1か月で破綻

4月7日、7都府県を対象に5月6日までとする緊急事態宣言が16日には全国化。しかし、5月4日には月末までの延長とする一方、期限内にも解除を検討となりました。この改定新型インフルエンザ特措法(3月13日成立)は「命より経済を重視する」安倍内閣の本質が現れています。政府の新型コロナ対策の遅れが緊急事態宣言を生み出し、「命こそ大事」の不安感が国民に蔓延しました。その結果、失業や倒産など生活に苦しむ国民の怒り「自粛と補償はセット」が「一律10万円支給」を実現したのです。「経済損失は補償しない」との安倍内閣の方針を破綻させました。

5月3日、安倍首相は、今回の緊急事態宣言にかついで、改憲派の会合に「(自民党改憲4項目の)緊急事態対応を憲法審査会で議論を」のメッセージを送りました。

自民党幹部ですら「新型コロナの混乱に乗じているといわれる」、公明党は「個別の法制の中で議論すべき」と批判しています。朝日新聞世論調査(3~4月郵送)では「改憲議論は急ぐ必要ない72%」、緊急事態条項の創設については「今の憲法で対応すればよい57%」(5月3日付)と安倍首相の思惑を批判しています。改定新型インフルエンザ特措法は2012年特措法の焼き直しであるにもかかわらず、2012年特措法の参議院付帯決議(4月24日内閣委員会)にある「対策に係る不服申し立て又は訴訟その他国民の権利利益の救済に関する制度について施行後3年を目途に検討し、所要の措置を講ずる」を無視しています。許してはなりません。コロナ感染に気を付けて、改憲反対・基本的人権拡大を闘いましょう。(5月9日記 事務局 蛭川義章)



SDCC オリジナルLINE スタンプ もう使っていますか？



ジュゴンのLINE スタンプは昨年7月に誕生しました。スマホユーザーだけの使用となっておりますが、スタンプは全部で40個、50コイン（120円）で販売中です！皆様、使っていただいていますか？

LINEにスタンプを申請したのは昨年の5月でした。LINEの決まり事として誹謗中傷、政治的な内容の言葉もダメでした。なので「NO BASE」とか「ジュゴンの保護区を！」なども使えずダメ出しが多くて心が折れそうになりましたが、やっと申請が通った時はただ可愛いだけのスタンプになってしまいました。

これでジュゴンのことをアピールできるのかと思いましたが、LINEの会話の中で「これは何？」から始まりジュゴ

ンを知ってもらうよい機会となっていると聞きました。若い方にもLINEは親しみがあり気軽に使ってもらえるので「子供にプレゼントした」という話も聞きます。初めは、少しでも売り上げに貢献してスタッフの活動費になればと思っておりましたが意外な広がり方に、こんな広がり方もあるんだとちょっとビックリ、でもうれしい話です。これをもっともっと広がっていけば沖縄の現状やジュゴンのおかれている立場も多くの人に理解してもらえます。是非、皆様もジュゴンLINEスタンプを広めて活用してください！

下記のQRコードもしくは、LINEのスタンプショップで「沖縄のジュゴン」で検索してくださいね。

（関西 上田千鶴）



このコードで
Getしてネ！



岩波ブックレット NO.1022

「沖縄を世界軍縮の拠点に — 辺野古を止める構想力」

豊下 檜彦・北上田 毅・吉川 秀樹・大城 尚子・豊田 祐基子・沖縄対外問題研究会著
(発行:岩波書店)



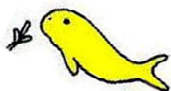
問題解決の構想を練ろう、と開催された「沖縄対外問題研究会 20周年記念シンポジウム」での各々の発言を基に加筆された論稿が掲載されています。

北上田さんの報告から、軟弱地盤問題などで新基地建設計画は破綻しているのがはっきりわかります。なのに政府は工事の強行を止めません。この状況を打破するには…

SDCC 国際担当の吉川さんは「日本国内の制度に頼るだけでなく、米国のジュゴン訴訟や関連する政府機関、IUCN(国際自然保護連合)など、米国や国際機関に辺野古の問題を訴え、成果をつなぎ、そして、建設を止めていこうという自身の取り組みを Connecting the Green Dots(緑の点をつなぐ)」と表現し、「ジュゴン訴訟のいちばん大きな成果は、沖縄の米軍基地問

題を、初めて、米国司法の場に引き込み、闘っていることだ。安保条約や地位協定の壁に潰されることなく、基地問題を解決する可能性を示している」と語っています。ジュゴン訴訟を継続・発展させ、国際世論に訴えて、辺野古新基地建設ストップを実現させたいと思う。

豊下さんは「脅威があるから軍拡だという従来の考え方に対して、否、軍拡こそが脅威なのだ、だから軍縮なのだという、基本認識を根底から変える新たなパラダイムを正面から打ち出すべきであろう」としている。新たなパラダイム。さて、あなたはどんな構想を描きますか？私は、ジュゴン(=龍宮神)を守り、龍宮神信仰(絶対平和思想)を復活させ、普遍化していくことかな、と夢想しています。どうぞ一読を。
(関西 池側恵美子)



平安座かなもり - ~こらむ・コラム~

確かトヨタの車に「新型コロナ」があった気がするが記憶違いか？ さておき、9・11の際ペンタゴンに墜落したとされたのはダグラスではなくボーイングであった。ケネディ暗殺も9・11も平和になったら困る米軍事産業組織の反宗教体制による自作自演。だが、この度の新型コロナウイルスとの戦いで、軍事力がいかに無益であるかが示され、神の力に恐れ入る。

5月17日の本澄寺コンサートはやむなく延期。三好龍孝さんや皆に会えるのはいつになるやら。旧約聖書にジュゴンが記されているのは日本語版とユダヤ語版だけであった。即ち、宗教民族と呼ばれるユダヤ12部族だけが、ジュゴンを守り神としていたことになる。

そのユダヤ民族がカナンに建国したイスラエル王国は、絶対平和主義を守る北朝10部族のイスラエル王国と、戦争を肯定する南朝2部族のユダヤ王国とに分裂。非暴力故に先に国を追われた北朝奴人と倭人が日本に渡来したのは紀元前秦始皇帝の頃。2世紀の倭国大乱後には卑弥呼を中心に倭及奴のうないたちが、ジュゴン

を崇拝する純粋な宗教国家大倭国を建国していた。

その卑弥呼による世直しの拠点が、現在本澄寺の建つカナビノモリだったという。「琉球文明の発見」出版後に色々気づいたのだが、実は私の故郷平安座島も「ひやむざかなもり」と讃えられた島だった。そこで、「カナン」と「カナビノモリ」と平安座島の「かなもり」とを徹底した宗教史と考えた場合、カナンは神奴、カナビノモリは神奴火の杜、かなもりは神奴杜であったと理解できる。

「もり=杜」もまた面白い。三好龍孝さんと訪ねた四国徳島の焼山寺の辺りがイスラエルのもりや山にそっくりという。空海が卑弥呼とジュゴン信仰を迫害し活躍した剣山には、卑弥呼亡き後渡来した南朝ユダヤのイザヤ族の運んだ聖櫃アークが隠されているという。空海はその秘密を守る為に四国88箇所を建て監視するようになったが、果たして十戒を犯したまま日米存続できるか疑問である。

海勢頭豊（うみせど ゆたか：SDCC 共同代表）

㊦んさか通信★ジュゴンの㊦

私にできること。

辺野古の埋め立て工事を止めるには、首里城復興の為に、コロナの終息の為に、自分にできる事は……。一大事を前に無力な自分にガッカリする。

首里城復興に向けボランティアがあると聞き（赤瓦の漆喰を落とす作業）参加したいと調べた矢先コロナの影響で作業は中止に。

コロナにかからない、うつさない、とにかく Stay home！これは耐えました、自粛しましたよ。4月30日の農業新聞記に、月桃には高い抗ウイルス成分があり A 型インフルエンザには効果が確認されており、幅広いウイルスへの効果が期待され（豚熱など）研修が進んでいるという記事がありま



した。色んなアプローチの仕方があるものだ、凄いな。

さて、何の知識も能力もない自分に出来る事は……。諦めない忘れない声を上げる事しかないじゃないか。一向に止まる気配もない辺野古の工事も、ダメですよおかしいですよと言わないと。

人間の活動自粛の裏で野生動物は喜び活発になっているという話も、わずかな期間でも工事が止ってジュゴンも安心して大浦湾に戻ってきたかも知れませんよ。また鳴いてるかも
(沖縄 小平裕美)

INFORMATION

(お知らせ) 新型コロナウイルス感染防止のため、当面はイベントの主催、参加は見合わせている状態です。今後の活動については、ホームページなどでお知らせします。よろしくお願いいたします。

—今こそ、防衛大臣にハガキを出そう— OKINAWA じゅごんを救え！大騒ぎキャンペーン！

嬉しいニュースが飛び込んできました。行方不明のジュゴンを心配していましたが、環境省は「伊良部島と波照間島でジュゴンの食み跡が見つかった」、防衛省は「工事が休みの日に、埋立予定区域の近くでジュゴンの鳴声が確認された」と報告しました。ジュゴンはがんばって生きている。工事を止めればもどってくる。沖縄島最大の海草藻場を守れば、ジュゴンは生きていけるのです。Hope Spot(希望の海)に日本で初めて認定された辺野古・大浦湾を守らねば！今こそ、声を挙げましょう。

行動が制限されるなか、ハガキなら出せます。何枚でも！「静かな海をジュゴンにかえそう」「辺野古・大浦湾は基地を造る場所ではありません」「辺野古新基地建設断念を」様々な声を届けましょう。大騒ぎハガキを同封しています。HP からダウンロードもできます。63 円切手を貼って投函して下さいね。



4・17 政府交渉、院内集會中止について

東京でコロナ感染が拡大する中、アースデイ東京開催中止など大規模集會の自粛が広がりました。環境省からは交渉の参加人数の制限3人、体温チェック、マスク着用などの要請がありました。防衛省交渉を院内集會(100人きほ)で行う準備を伊波洋一参議院議員(参議院外交防衛委員会)にお願いし、準備を進めていました。

結果的には、4月7日に緊急事態宣言となったのですが、「三密」への配慮もあり環境省交渉、防衛省交渉中止、院内集會中止の判断をしました。伊波事務所のご厚意で、防衛省から4月20日付で私たち要請書に対する文書回答をいただきました。この内容についてはSDCCのブログ「ジュゴン掲示板」をご覧ください。

<https://blog.goo.ne.jp/sdcc>

4/21 記事 辺野古新基地建設について防衛省からの回答

アースデイ東京2020のオンライン開催と

IUCN 世界大会の延期について

4月18日(土)~19日(日)に開催予定でしたアースデイ東京2020は、新型コロナウイルスの情報収集、複数の医師や専門家へのヒアリング、都からの要請を踏まえ、代々木公園の開催を中止し、オンライン開催となりました。SDCCとしては、One Peace Okinawaの一員として沖縄の現状を多くの参加者に伝えるために準備をしていましたが、残念な結果となりました。来年については、代々木公園での再開を期待したいと思います。

また6月にフランス・マルセイユで開催予定だったIUCN世界大会は、来年1月7日~15日(フランス・マルセイユ)に延期となりました。

新型コロナウイルスの猛威の中で、世界中の機能が麻痺している現状から人類の英知を結集して乗り越えていきましょう。

(首都圏 三村昭彦)

Editor's Note

新型コロナウイルスに対する政府の対応は、安倍政権が、骨の髄まで「命より金」「庶民の生活より富裕層の利益」に染まっていることを明らかにしました。市民に自粛を要請しながら、工事関係者に感染者が出るまで工事を止めなかったことから明らかです。「基地よりコロナ対策」を求め、基地建設を止めジュゴンを辺野古大浦湾に呼び戻しましょう。

会員のみなさまへ

沖縄ジュゴンをまもるため、とてもとても重要な1年です。また4月5月は会費の切り替えの時期です。活動を支えるため、ぜひ会費の切り替えをお願いします。ニュースの宛名ラベルに切り替え時期を記載しております。ぜひ振りこみ、またはスタッフへの手渡しをお願いいたします。

ジュゴンちゃんぶるニュース VOL.110 2020年5月26日発行
ジュゴン保護キャンペーンセンター Save the Dugong Campaign Center (SDCC)
〒162-0815 東京都新宿区筑土八幡町2-2-1
第1千代田ビル301 なかま共同事務所内 TEL/FAX 03-5228-1377
○ <http://www.sdcc.jp/> ○ info@sdcc.jp
(関西連絡先) 〒534-0025 大阪市都島区片町2丁目9番21号 京橋ベース
(旧野口ビル) 302号 TEL/FAX 06-6353-0514

会費(2000円)&カンパ振り込み先

郵便振替:
加入者名 ジュゴン保護キャンペーンセンター
口座番号 00140-9-660199
他行、コンビニからは: ゆうちょ銀行 ○○八支店
口座番号 普通 8159084

ちゃんぶるニュース購読会員募集中です。年会費2000円で年6回ニュースをお届けします
お問い合わせは、上記事務所まで。ニュース購読で、あなたもジュゴンサポーターに！